

会報 第140号
発行日 平成28年6月1日
発行・編集 V・G 概論
代表者 大岡成一
http://web1.ibj.co.jp/~kirin

V.G 概論だより

わがまち紹介

工場跡地が学園のまちへ 立命館大学 大阪いばらきキャンパス

平成28年5月19日(木)
JR茨木駅改札出口集合
カラフルな舗装をした歩道
に沿って約10分で大学に、
B棟2階 ギャラリーに集
合しました。

ナビゲータを担当して頂
きましたのは、2回生の玉
井さんでした。

ギャラリーで大学の全体
の説明をして頂き、B棟・
A棟内をわかり易く、丁寧
に説明して頂きました。

今回の見学では、OICキャン
パス インフォメーション
の石橋さん、管理室の大
森さん達のお世話になりま
した。本当に有難う御座い
ました。

見学後、カフェテリア方
式の学食を食べました。
その後、B棟1階のテラス
カフェで見学後の意見交換
及び歓談を行いました。

工場跡地の新たな街づくり
茨木市のサッポロビール
工場跡地に、立命館大学の
「大阪いばらきキャンパス
(OIC)」が開学しました。
もともとは、平成20年に閉
鎖したサッポロビール大阪

工場があった場所で、大
企業の工場閉鎖に伴う跡
地などが、新たな街づく
りの場として生かされ、
市が立命館大を誘致した。
同市では近年、東芝やパ
ナソニックの工場が相次
ぎ撤退するなど、空洞化
が懸念される中で、学生
主導の地域づくりに期待
がかかる。



空のプラザから岩倉公園を見る

立命館大学は、二千二
十年を見据えた学園ビジ
ョンを定め、その基本計
画として、「教育、研究
学生生活を支えるキャン
パスづくり」を目標のひ
とつに掲げて計画された。
OICは、土地面積は約
十一万平方mと隣接公園
(岩倉公園) 約一万五千

m²を併設しています。
地域との「つながり」
をコンセプトに、塀を一
切設けない開放的なつく
りとなっています。

OICには、学部とし
て、経営学部(約3千6
百名・政策科学部(約千
6百名・総合心理学部(約
二百八十名) があります。
研究科として、経営学研
究科(約八十名・政策科
学研究科(約六十名)・
テクノロジ・マネジメント
研究科(約百名)・経
営管理研究科(約八十名
で約五千八百名の学園が
誕生したのです。

大阪いばらきキャンパス
の「教学コンセプト」
都市型の立地を活か
して、産業界や行政機
関等との一層の連携に
よる教学展開とともに、
立命館学園の社会連携
のフロントライン、交流
拠点としての機能を整
備し、学生の更なる成
長を支援するキャンパス
を目指すとの事です。

(1)アジアのゲートウェイ
課題先進国である日
本の経験と知の蓄積を
活かして、アジアから世
界へ、世界からアジアへ
人と人、知と知をつな
ぐ「ゲートウェイ」として

の役割を発揮しようと
しています。また、ダイ
ナミックな成長センター
であるアジアの中で真の
信頼と友情を育む人づ
くりを貢献することを
目指す。

(2)都市共創
都市に集積する多様
な人材や組織をつなぎ
都市の中に点在するポ
テンシャルを最大限に引
き出すことにより、新
たな価値の創造を目指
しています。

(3)地域・社会連携
地域・社会との連携
を通じて教育・研究・学
生活動のフィールドを
拡げるとともに、多様
な活動を通じて相互の
信頼関係を育み、豊か
な地域・社会づくりに
貢献する。

OICキャンパスの特徴
(1)開かれたキャンパス
の表現



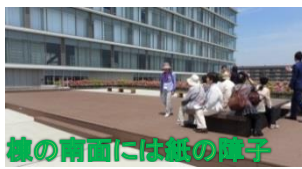
キャンパスには塀がありません

キャンパスには塀を設
けることなく、多様な
人々が集う、地域・社会
に開かれたキャンパスを
目指しています。

また、学生の地域・社会
でのアクティブな学びを
通じてコミュニケーションの活
性化に貢献します。

(2)まちと調和したキ
ャンパスづくり
茨木に自生する樹木を
配置した里山を再現する
エリアやキャンパス南側
に位置する春日神社との
連続性を意識したエリア
など、周辺環境と調和し
たキャンパスの緑地計画
をしています。

(3)環境配慮と安心・安全
の取り組み
エコキャンパスの実現
に向けて環境負荷軽減に
取り組む、建築環境総合
性能評価システムのS
クラス(素晴らしい)を
目指しています。
また、地域・周辺企業と
連携し防災
への取り組み
みなど、コ
ミュニティ
の安心・安
全に貢献す
るキャンパ
スです。



緑の南面には緑の障子

2016年6月行事予定
“花緑と歴史と眺望のオアシス”：須磨離宮公園
月 日：平成28年6月1日(水)
集合場所：山陽電鉄 月見山駅 9:45
行 先：須磨離宮公園・須磨寺
内 容：離宮公園の名前の由来を味わいながら散策！！
そ の 他：1) 一般参加者は、会員を通じて申込み下さい。
2) 詳細は別紙で連絡しています。

2016年7月行事予定
大阪万博の跡地が変身!“EXPOCITY”
月 日：平成28年7月6日(水)
集合場所：大阪モノレール万博公園駅改札出口：9:45
行 先：生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」
内 容：NIFRELは、水族館・動物園・美術館のジャンル
そ の 他：1) 一般参加者は、会員を通じて申込み下さい。
2) 雨天決行です。